

# 戦後80年 ひこばゆ特別企画

## あの戦争を忘れない

### シリーズ3 この地域の「戦争」をたどって～女性の証言～



シリーズ「あの戦争を忘れない」第3回目の今回は、戦時下で生きてきた青年、大人たちに目を向けます。戦後80年を迎えた今日では、戦時中の青年、大人たちの思いを直接聞くことが極めて困難になっていますが、君津中央公民館の過去の事業の記録集には、当時を生きた人たちの思いが綴られています。今回、二つの記録集から、お二人の女性が綴られた記録の一部をご紹介します。

過去六十六年間の私の生涯には、いくつもの転機がありました。その中で最大の転機はなんといってもあの敗戦だったと思います。一歳になったばかりの長男を抱えて、頼みの夫は外地(ライピエン)で、生死も

分からず、細々と続けていた簡い、戦争のためにほとんど売れる品もなく、ただ月一回、生活必需品の配給所として戸を開けているというありさまでした。

私はあの日、八月十五日はちようとお盆の墓参りに行き、実家のラジオで玉音放送をききました。むずかしい詔勅のお言葉と、音声のはっきりしない古いラジオのため、聞き終っても意味がよくわかりませんでした。母や義姉や幼い姪と、甥たちも並んで聞きました。降伏だとわかった者はありませんでした。それでも前の晩の予告放送で、生まれてはじめて聞く天皇のお言葉から、日本にとつて重

大放送だということは皆わかりました。また、それはなんとなく降伏らしい雰囲気のお言葉に思われませんでした。玉音放送のあとでもまだ、空襲警報が鳴り、艦隊の音がして、みんなあわてて防空壕へ逃げこみました。降伏したのではなかったのか？それとも敵方はまだ降伏が通じていないからか？これでやられない大死だ！私は暗い壕の中でさまさまな思いにいられた不安のうちにさらにだんぢを感じていました。中略

いつごろからか、ラジオに尋ね人の時間が設けられて、夫や兄の帰りをききつらまてきました。戦時中は、ラジオといえは、戦況

を伝えるニュースと、空襲情報や、敵機襲撃、解除の知らせであるの当時、付近の家で家の裏に防空壕を掘り、避難したもので、父や兄も戦地へ赴いていたので母も大変でした。防空壕の中は薄暗くて広くは無かったです。空襲の被害や悲惨な詳細は幼かったのあまり分かりません。当時B29の爆撃の編隊が何機も連なり上空を通過するの何度も見ました。ゴオーっとならび、すさまじい音に耳が張り裂けそうでした。

空襲警報、敵機襲撃、解除の知らせであるの当時、付近の家で家の裏に防空壕を掘り、避難したもので、父や兄も戦地へ赴いていたので母も大変でした。防空壕の中は薄暗くて広くは無かったです。空襲の被害や悲惨な詳細は幼かったのあまり分かりません。当時B29の爆撃の編隊が何機も連なり上空を通過するの何度も見ました。ゴオーっとならび、すさまじい音に耳が張り裂けそうでした。

発行  
君津中央公民館  
君津市久保2-13-2  
TEL.0439(50)3990  
FAX.0439(54)9888

### 自治会長随想の変わる地域 変化はチャンス!!

貞元自治会長 能城 正巳

老若男女に関わらず楽しんでいただいております。近年はポールパークの誘致計画が発表されました。君津市にとってビッグプロジェクトです。貞元地区は田園風景の自然を自慢としてきました。全国に君津市の知名度がアップする施設が出る事になり、一気に有名になると思います。もちろん、メリットの一方には心配事もあることはいくつかあります。地域の方の不安もあることではないでしょうか。

しかし、私は、物事をポジティブに考えて計画を進めながら多種多様な意見に耳を傾け対立ではなく、協創の精神で地域と君津市が歩んで行けるよう努力させていただきます。

これからは貞元自治会員の皆様とコミュニケーションを良く取り、さらなる良い貞元地区になるよう、自治会長として頑張ります。ご協力を宜しくお願い致します。



「あの戦争を忘れない」第3回目の今回は、戦時下で生きてきた青年、大人たちに目を向けます。戦後80年を迎えた今日では、戦時中の青年、大人たちの思いを直接聞くことが極めて困難になっていますが、君津中央公民館の過去の事業の記録集には、当時を生きた人たちの思いが綴られています。今回、二つの記録集から、お二人の女性が綴られた記録の一部をご紹介します。

### お庭を拜見! 陽光台 福村さん宅

このまちの変化を見つめて

以前「縁台が古くなったので、新しくサンルームを作っているんです」とおっしゃっていた陽光台前自治会長の福村さん。この度「完成したよ」と伺い、さっそくおじゃましました。

お庭には、ミカンやプラム、ヤマモモほかお子さん達の成長を祈りながら植えた思い出のつまった様々な果樹が植えてあり、ミカンや柿が美味しそうに、たわわに実っていました。

そして圧巻はお庭からの眺望。遠くに三舟山や鹿野山、さらに「ビルが建つまでは富士山の全景が見えた」とおっしゃるとおり、少しだけ隠れた富士山まで見えます。もしかしたら新しくできる野球場なども見えるかもしれません。

「君津に来た頃、見渡す限りの田園風景が広がる中に古い駅舎やプレハブ建ての市役所がありました。ここに転居したのは新庁舎が完成して約4年後。様々なビルが建ち始め、頃と町が形成されつつある地域の変化を見守ってきたこのお庭。これからも様々な変化していくこのまちを見つめて続けていくことでしよう。

### リウゼツランの世代交代

下湯江 嶋野さん宅

376号で紹介した、下湯江、嶋野さんのお宅のリウゼツラン(電舌蘭)がなんと、10月31日に倒れてしまったとのこと。「風で電舌蘭が倒れたわよ」と連絡をいただき、お宅に駆けつけること、約7mの電舌蘭の花茎が折れてしまっていました。

しかし、驚きと残念な気持ちに包まれながら枯れた根元を見ると、なんと、周囲の子株が60cm程に急成長していました。

R6年5月に花茎が伸びはじめて約1年6か月もの間、ご家族やたくさんの方の目を楽しませてくれた電舌蘭は、しっかりとその役割を子株に引き継いでいました。

子株が花をつけるのはいつになるのか、夢が広がります。

### 編集後記

文化祭の会場が多世代のスタッフが大活躍。隅々まで気を配り、準備に約半年かけた企画を成功に導いてくれました。また様々な取材では紙面に収まらない程の楽しいお話や情報提供を頂きました。改めて地元パワーに感謝致します。(愚)



強風に倒れたリウゼツラン(電舌蘭)



今回の引用元の2冊



**1階グループ長**  
野村よし子  
(野の花を活かす)

文化祭のテーマ「いつまでも平和な楽しい地域」に沿って発表しました。80年の節目の年にふさわしいメッセージ、沢山の鶴、平和の象徴、元気に飛ぶ鳩もいましたね。それぞれのサークル・団体が日頃の学び、楽しみをベースに展示をしました。展示が交流の場にもつながり輪を広げています。益々活気ある公民館に前進です。

**2・3階グループ長**  
河森 良岳  
(写経の会)

今回初めて役員として参加しました。準備は大変でしたが、女性陣の働きとパワーの素晴らしさに圧倒されました。文化祭当日は1階・2階の盛り上がり compared to 比べると、3階での当会の催しは、やや寂しい人数となりましたが、一人で参加してくれた中学1年生が、囲碁のルール説明と対局を「面白かった」と言ってくれました。私たちにとてもうれしい思い出となり、来年への力となりました。



# 第61回 君津中央公民館文化祭開催!

## いつまでも平和な楽しい地域を

文化祭、みなさんいかがでしたか?  
今年はいつまでも平和な楽しい地域を、テーマに掲げ、折り鶴や鳩が舞い、平和への願いを込めた展示・装飾・グループごとの取り組みが各所に散りばめられました。例年になく一体感のある文化祭ができたと思っています。  
自分たちの発表の準備もある中で、参加団体の方々に装飾のお手伝いをお願いしたり、グループの取り組みでひと手間を取らせたり



**実行委員長**  
岡田 美保



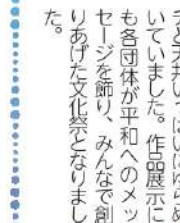
岡田さん(前列左)、池田さん(前列右)、ボランティアスタッフの皆さん

しましたが、それらがきちんと成果として表れたこと、とても嬉しかったです。関わってくれた全ての方に感謝申し上げます。

文化祭特別企画当日、オープニングセレモニーで久しぶりに人前でスピーチをする機会をいただき、正直とても緊張しましたが、



**利用者みんなの会**



**貞元剣道クラブ**

**かるた大会 (青少年相談員)**

去る11月1日(土)の3日間、第61回君津中央公民館文化祭を開催しました。たくさんの方々が、展示、体験、舞台発表などで会場を大いに盛り上げました。  
特別企画は、音楽アーティストを案内する参加型企画「ジモトピースフェス」(写経の会)と、地元小中高生が作った「平和の丘」の折り鶴と短冊が、倍のアーチと天井いっぱいゆらゆらとあふれていた。作品展示にも各団体が平和へのメッセージを飾り、みんなで創りあげた文化祭となりました。



**特別企画グループ長**  
池田 頼明

文化祭の大切な場に立てたことを光栄に感じています。準備の段階では、世代を超えて地域のボランティアの皆さんが力を合わせてくださり、その温かい協力に心から感謝しています。地元からの平和発信として取り組んだ特別企画、そして文化祭全体から、地域の絆の強さと平和の大切さを改めて感じました。これからも皆さんと共に地域を盛り上げていければ幸いです。

**軒下グループ長**  
佐藤 玉子  
(利用者みんなの会)

お天気に恵まれ、2日間とも多くの来場者で軒下グループも賑わいました。ブースには折り鶴とお客さんに小さなハッピーで平和を感じてもらえる「ニコちゃんくじ」も置きました。あちこちで「当たり」の音がする、こちらもウキウキとハッピーになりました。私が担当したフランクフルトも行列で、焼くのに大忙しでしたが、「美味しかった!もう一本下さい」の言葉に、楽しいひと時が過ぎることの幸せを感じました。

**ホールプロアグループ長**  
松島 姿子  
(なまなた白柄会)

今回の文化祭は、初めて、準備に関わる「文化祭実行委員会」からの参加でしたが、実行委員会がホールプロアグループ長になりました。こちらも初めての体験でしたが、みなさんのお力のおかげで平和の花を咲かせよう、「ひまわりのたね」をこまめにみなさんにプレゼントすることができ、楽しかったです。当日は子どもたちの参加が少なかつたかなという点があり、今後工夫していきたいと思っています。

「みんなの歌で平和への祈りを発信していきましょう」という司会の声で始まった「うたごえ喫茶」。「世界の国からこんにちは」や「折り鶴」や「アンパンマン」のマーチなど平和を意識した楽曲で、伴奏は高校生や地域のボランティアスタッフが、会場は満員御礼の盛況ぶりでした。「みんなの花咲く丘」ではハモニカの伴奏で手遊びをしながら歌い、笑顔の花が満開になりました。参加者からは「知らない曲もあったけど、スタッフのサポートで歌えて凄く楽しかった」「ノリノリだった」「ぜひ来年も」との声が上がっていました。



**平和アート展**



**君津フィオーリカント**



**なまなた白柄会**



**特別企画 「ジモトピースフェス」 地元ピース音楽祭**



**ホール舞台グループ**  
桑原 晴美  
(OBボイスバンド)

朝晩冷え込む季節が進む中、文化祭が今年も無事に終わりました。舞台発表は、拍手喝采、大いに盛り上がり、ほほ時間通りに行われました。華やかな衣装で臨む合唱や演奏、凝った演出の数々をどれもとても素晴らしい発表でした。成功の裏では舞台スタッフの高齢化が進むなど課題もありましたが、人数が少ないながらも協力し合ってスムーズな進行が出来ました。今後も課題解決に向けていきたいと思います。

**君津高校書道部の皆さん**

**周西南中学校吹奏楽部の皆さん**

**翔深高校軽音部 LABREA の皆さん**

